

# 意欲的な子どもの育成

— 埴町立片貝小学校 —

片貝小（石澤孝一校長、児童数五十名）では、文部省の研究指定を受け、小規模校の特性を生かした個に応じた学習指導法の「研究」に取り組んでいます。

児童たちが意欲的に発表する授業や児童集会、先生が一人一人に語りかけながら進める授業など、全教育活動を通しての実践によって、意欲的な子どもを育てる上で大きな成果を収めています。



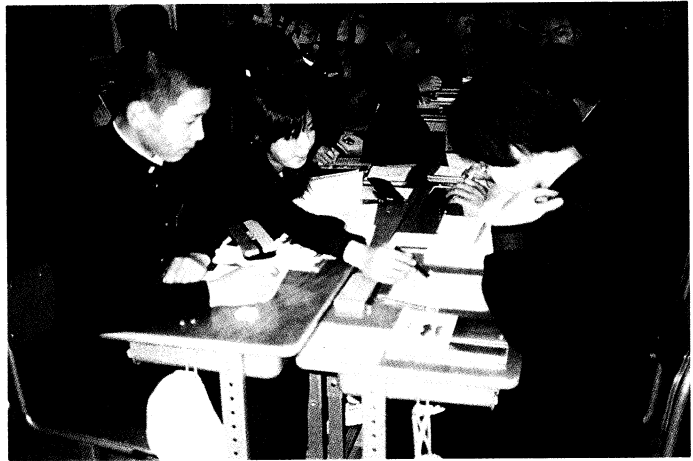
児童たちが自主的に行う発表集会

# 発表力と実践力の育成

— 只見町立只見中学校 —

只見中（水戸昇校長、生徒数百三十六名）では、文部省の指定を受け「生徒指導総合推進校」として活動しています。

「させる生徒指導」から、「生徒と共にする生徒指導」への転換をめざす教師集団づくりをベースにして、自ら進んで行動できる生徒の育成をめざした研究を深めます。



活発なロングホームルーム活動

# 新時代を担う工業化学教育の 未来と原点

日本工業化学教育研究会第三十五回国大会は、七月二十九日～八月一日会津若松市文化福祉センターに、全国工業高校教職員三百五十名が出席して盛大に開催されました。

標記の大会スローガンのもと、講演会、研究会表、分科会、全体会での研究協議等盛りだくさんの日程の中で、新時代に対応した工業化学技術教育についての研修を深めました。



実り多かった研究大会